園長先生の子育てひろば

令和３年５月

こいのぼり

園長　山中　文

近頃では、街中でこいのぼりを見ることが少なくなってきましたが、本園では、３匹の鯉がゆうゆうと泳ぎました。

こいのぼりは、健やかな成長以外に男児の立身出世を願ったものもあるとか、いろいろな説がありますが、登降園時に、男児も女児もこいが泳いでは歓声をあげて見上げ、風が止んで尾が下がってきてはそれを触り、と戯れているのを見るのは、嬉しいものです。買い換えたばかりのこいのぼりですが、きっと、尾のあたりは、すぐに黒くなったりすれたりすることでしょう。それも幼稚園のこいのぼりならではの勲章かもしれません。

このこいのぼりに負けじと園の子どもたちもこいのぼりを制作しました。それぞれの年齢に応じた楽しいこいのぼりができましたよ。

年少さんは、いろいろなシールを好きなように貼りました。写真では縦や横にシールを並べていったり、円のように貼っていったりしているのがわかるかと思います。

年中さんになると、ストローやペットボトルのキャップ、乳飲料容器などを使って絵の具でスタンプにしました。さらに表情が楽しくなっています。

そして、年長さんになると、大きなこいのぼりを染め粉で絞り染めです。これはみなで協力することが必要なので、年長さんならではの作品になりますね。

年長さんのこいのぼりはご家庭ではちょっとむずかしいですが、年少さんや年中さんのシール貼りやスタンプ遊びなど、その年齢で遊んでいることを使って、オリジナルこいのぼりをつくってみるのもいいですね。

連休前、自分のこいのぼりを持ち帰ることになった年少さんは、帰り際、園のこいのぼりと自分のこいのぼりをあわせて、何人もが写真を撮っていましたよ。

年少さん

年中さん

年長さん